



森林レンジャーあきる野新聞

Vol.2

2010年7月号

発行：森林レンジャーあきる野

「夜の清流でホタルを見よう！」観察会(6月25日)



参加者のみなさんとレンジャー



ホタルクイズ。わかるかな？



アジサイの映える梅雨真っ盛りの6月。梅雨の晴れ間で天候にも恵まれ、地域の方のご協力のもと観察会を無事開催することができました。

37名の参加者と、養沢川に生息するゲンジボタルの観察をしました。今年の春先は気温が低かったため、例年よりもホタルの出現が遅いということでしたが、20匹近いホタルが光ってくれていました。

クイズやホタルの一生の説明を聞いた後、川辺での観察です。ホタルを見たことがある子も初めて見る子も、ホタルのことをちょっと知ること、ホタルの光も少し違って見えたのではないのでしょうか。

今私たちが見ている養沢川のホタルは、代々地域の人たちが山を守り続けていたからこそ、そこで観察することができるのです。山が管理されていれば川の環境も保たれ、川に棲む生き物がたくさんいて、ホタルの食べるカワニナという貝も生息できる。だから、ホタルがこの川に棲めるのです。

守られてきた山の管理を維持することが、毎年ホタルの光を見られることにつながるのですね。ホタルの光に、いろいろな“つながり”を感じながらの観察会でした。

レンジャーの日々

(右上)長岳尾根の危険木処理ビフォー&アフター
昇降機で木に登りチェーンソーを使います。危険木のため簡単には倒せません！こうやって、登山者が安全に道を歩けるようにルートを整備しています。

(右下)観光地化されていない沢をのぼる！
自然資源発掘と調査のため、ルートを探しながらの沢登りです。そして、ついには！自然資源発見です。

(左下)危険木処理と景観林整備ビフォー&アフター
戸倉三山の一つ刈寄山。山頂の危険木処理と、景観林整備です。頂上からの眺望も良くなりました。(整備した木でベンチを作成！)



レンジャーが注目！～テーマ「水」～

レンジャーがテーマに沿って、あきる野市のこと、動植物などを紹介・解説します。

今回はパブロ&加瀬澤レンジャーです。



また雨の季節がやって来た。

外で活動するとどれだけ雨が降るのか分かって来る。

日本ではやっぱり雨の日が多いですね。私の国スペインでは6月から秋にかけて雨量は非常に少ないので、日本のような緑があふれていないし、川に豊かな流れが見られない・・・逆に、しつこい湿度もない。

とにかく、日本の夏はすごいと思います。

水量のおかげで沢山の生物が見られるので嬉しいですね。

例えば、この間は滝巡りの目的で沢登りをしながら生物を観察して来ました。よく知られてない所なので、きれいな沢、きれいな滝、そして

多様性でいっぱい。水から色んな命が生まれて来るのが、分かるような感じでした。自然は本当に素晴らしいと思います。

あなたも、山に向かって自然の隠れている秘密を探しませんか。



沢の水中で越冬して大きくなったヒダサンショウウオの幼生は、そろそろ水から出て新しい生活に向かいます。

パブロ



南沢のあじさい山
(7/5)

梅雨だからこそ！いきいきと咲くアジサイ。

雨の続く季節のなかで、私たちをパッと明るくしてくれますね。

そんなアジサイも、私たち同様一生懸命に生きています！雨で花が折れてしまわないように小さな花をつけるなど、梅雨に咲く花ならではの工夫をしているのですよ。生き物は子孫を残すために様々な工夫をしています。

人間の私も、知恵を生かした生活をしたいものです。



あじさい山とレンジャー

あきる野市の深沢地区には、40年前から南澤忠一さんが大切に育てている約1万株のアジサイが咲く山があります。

南澤さんの笑顔も素敵です。

南澤さんの笑顔とアジサイから、元気もらった梅雨でした。

さあ、梅雨が明けました！

川・滝遊びが楽しめる季節到来です。



加瀬澤

イワタバコが見頃です。